

島根県森林審議会（平成30年度第1回）議事要旨

■日時 平成30年12月21日（金）10:15～15:30

■場所 島根県立男女共同参画センター、大田市内

■出席者

【委員】伊藤委員（会長）、山碕委員、広江委員、長尾委員、立石委員、吉川委員、
浦田委員、塩見委員、田中委員、樋口委員、佐々木委員

【事務局】松浦農林水産部長、鈴木農林水産部次長、桑本農林水産部次長、山内森林整備課長、
今岡全国植樹祭推進室長、野田西部農振C県央事務所林業部長、
中尾農林水産総務課管理監、外関係職員

■審議会の概要

1. 開会

2. 農林水産部長あいさつ 松浦農林水産部長

3. 会長あいさつ 伊藤会長

4. 議事

（1）諮問事項

①地域森林計画の樹立及び変更（案）について **資料1**

（説明：山内森林整備課長、林森林計画GL）

- ・森林法の規定に基づき島根県が策定・変更する地域森林計画（案）を説明
高津川地域森林計画の樹立（案）
斐伊川地域森林計画の第1次変更（案）
江の川下流地域森林計画の第4次変更（案）
隠岐地域森林計画の第2次変更（案）

〈主な質疑要旨〉

Q1. 林道、林業専用道及び森林作業道の作設を担う業者の確保は。

A1. 林道、林業専用道及び森林作業道は、業者や森林組合がしっかり対応している。

Q2. 地域森林計画の資源の把握において、レーザー航測の利用は。

A2. 国の検討状況を踏まえ、その動向に注視していく。

Q3. 今後、伐採量は増加するが、再生林の取組は。

A3. 伐採者と造林者との連携を強化し、再生林を促進する。

Q4. 「離職率を下げるためには、就業後5年目までの定着率向上が必要」とあるが、
県の具体的な取組は。

A4. 魅力ある事業体となるため、「島根林業魅力向上プログラム」を作成し、就業環境の改善に取り組んでもらうとともに、「しまね林業士」制度を設け、その資格により給料や職位に繋がるように取り組む。

〈答申の採決〉

原案を認める答申とすることで全会一致。

（2）報告事項

①森林保全部会の開催状況について **資料2**

（説明：広江委員（森林保全部会長））

- ・林地開発に伴う保安林の解除
土砂等の採掘目的（江津市敬川町神主地内）

（3）情報提供

①ツキノワグマの錯誤捕獲対応時における人身被害の発生について **資料3**

（説明：山内森林整備課長）

12月15日に浜田市内で発生したツキノワグマによる人身被害の状況について説明。

②全国植樹祭の開催準備状況について **資料4**

（説明：今岡全国植樹祭推進室長）

平成32年春季開催の第71回全国植樹祭について、大会テーマ等の決定、前回植栽樹木の収穫などに併せて、今後の開催準備のスケジュールを説明。

③林業事業体の育成対策について **資料5**

(説明：和田森林組合・担い手育成GL)

林業就業者等の推移に併せて、林業事業体の育成・強化対策としての「林業魅力向上プログラム」及び「しまね林業士制度」を説明。

(4)「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」第3期戦略プラン実施状況 **資料6**

(説明：大国企画幹)

同第3期戦略プランの概要と実績について説明。

(5)「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」第3期戦略プラン 関連現地等 **資料7**

①県央圏域における森林・林業・木材産業の概要について

(説明：甲佐西部農振C県央事務所林業第一課長、井上同第二課長)

県央圏域の森林資源の状況や、県央圏域の2つのプロジェクトの取組状況等を説明。

以下、現地調査

②主伐(スギ)現地(大田市三瓶町池田)

「原木増産・再造林推進プロジェクト」に即して、伐採者と造林者による連携協定に基づき、一貫作業で行われる伐採(・再造林)施行地の現地調査



③製材所・竹下木材有限会社(大田市鳥井町)

「地域材製品の品質向上と出荷拡大プロジェクト」に即して、協定に基づく原木調達を行うとともに、製材所との連携により製品出荷に取り組む竹下木材有限会社を現地調査



5. 閉会

6. 農林水産部次長あいさつ 桑本農林水産部次長